

教育目標：深く考え 遅しく生きる

誇りの持てる筑中にする

【教育理念】：「聴く学校」

めざす教師像：傾聴と愛語により生徒の学習意欲を高める教師

めざす学校像：授業づくりを根幹とする学校

《 学校づくりのねらい 》

「聴く学校」を合言葉とする学校づくりと、対話を基盤とした授業を通して、自己調整学習力を高め、「深く考え 遅しく生きる」生徒を育成する

対話を基盤とした授業

問題を設定する → 問題について話す → ひとりで解決策を考える → 友と話す → 解決策を修正する
→ 修正した解決策を伝える → 振り返って今日の一番大切だと思うことを表す

めざす生徒像

- ・ 自分に必要な学習を自覚し、進んで取り組む生徒
- ・ 筋道立てて考え、気づいたことを適切に伝える生徒
- ・ 自分のよさを生かして、人の役に立とうとする生徒

教育課題

対話の質を高めること

(重点1・学びづくり)

智恵を出し合わなければ乗り越えられない必然性・切実感のある問題・課題により対話を活性化する

(重点2・関係づくり)

生徒一人ひとりのよさを認める
教師の評価をモデルとして、生徒間に生産的な人間関係を構築する

《 教育システム 》

○ 「深く考え 遅しく生きる」生徒が育つ学習システム

- ・ 自己調整学習力が高まる教科等横断的な教育課程を編成する
- ・ 単元内自由進度学習の試行

○ 地域との協働システム (CS：コミュニティ・スクール)

- ・ CSふたむらへの積極的な参加
- ・ 学校と地域が一体となって生徒を育てる
「学舎ちくまの」「ラボちくまの」「筑中応援団」「筑中りんどう会」

○ 職員の研修システム

- ・ ミッション探索カードを活用する教頭との懇談を通して、職員が筑摩野中学校における使命と課題を明らかにする